

位置図
S=NON



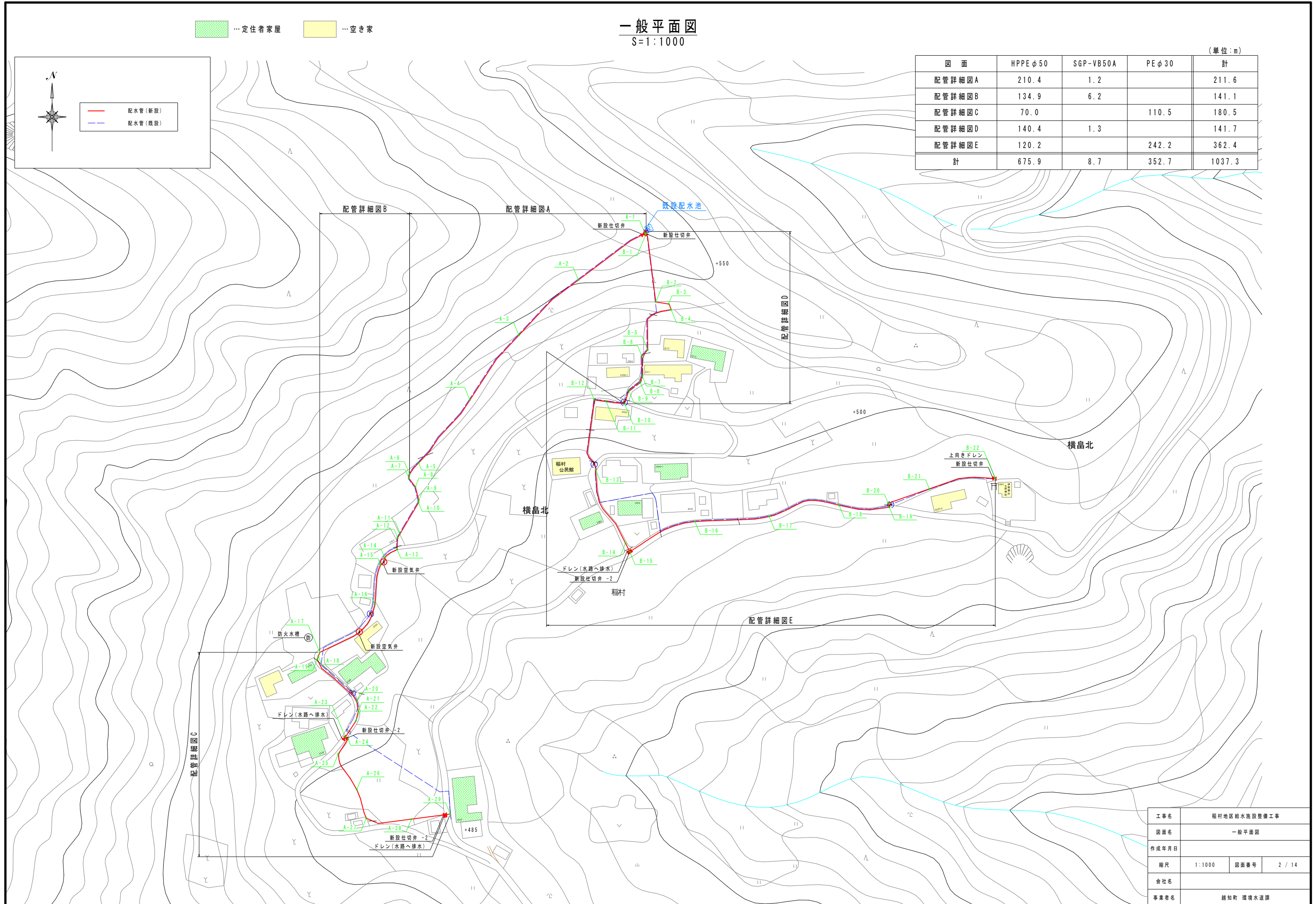
工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	1 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

…定住者家屋 …空き家

一般平面図
S=1:1000

(単位:m)

図面	HPPEφ50	SGP-VB50A	PEφ30	計
配管詳細図A	210.4	1.2		211.6
配管詳細図B	134.9	6.2		141.1
配管詳細図C	70.0		110.5	180.5
配管詳細図D	140.4	1.3		141.7
配管詳細図E	120.2		242.2	362.4
計	675.9	8.7	352.7	1037.3



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	一般平面図		
作成年月日			
縮尺	1:1000	図面番号	2 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		



—	配水管(新設)
—	配水管(既設)

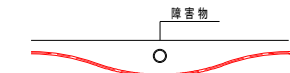
配管詳細図A(1)

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
※メカ形異形管埋設部は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

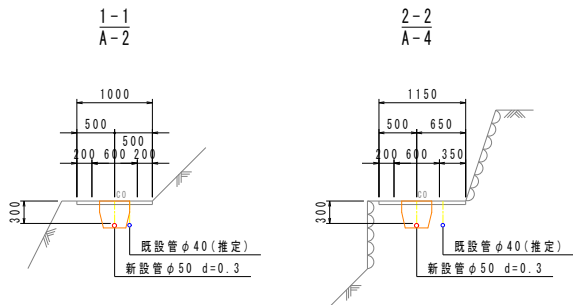
下越し標準図

S=NON



横断面

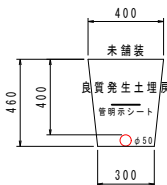
S=1:50



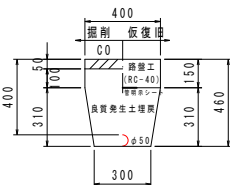
掘削断面図

S=1:20

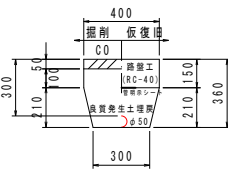
土工断面1
φ50 未舗装 d=0.4 人力



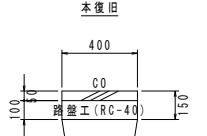
土工断面2
φ50 C0両切 d=0.4 人力



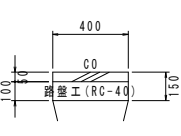
土工断面3
φ50 C0両切 d=0.3 人力



本復旧

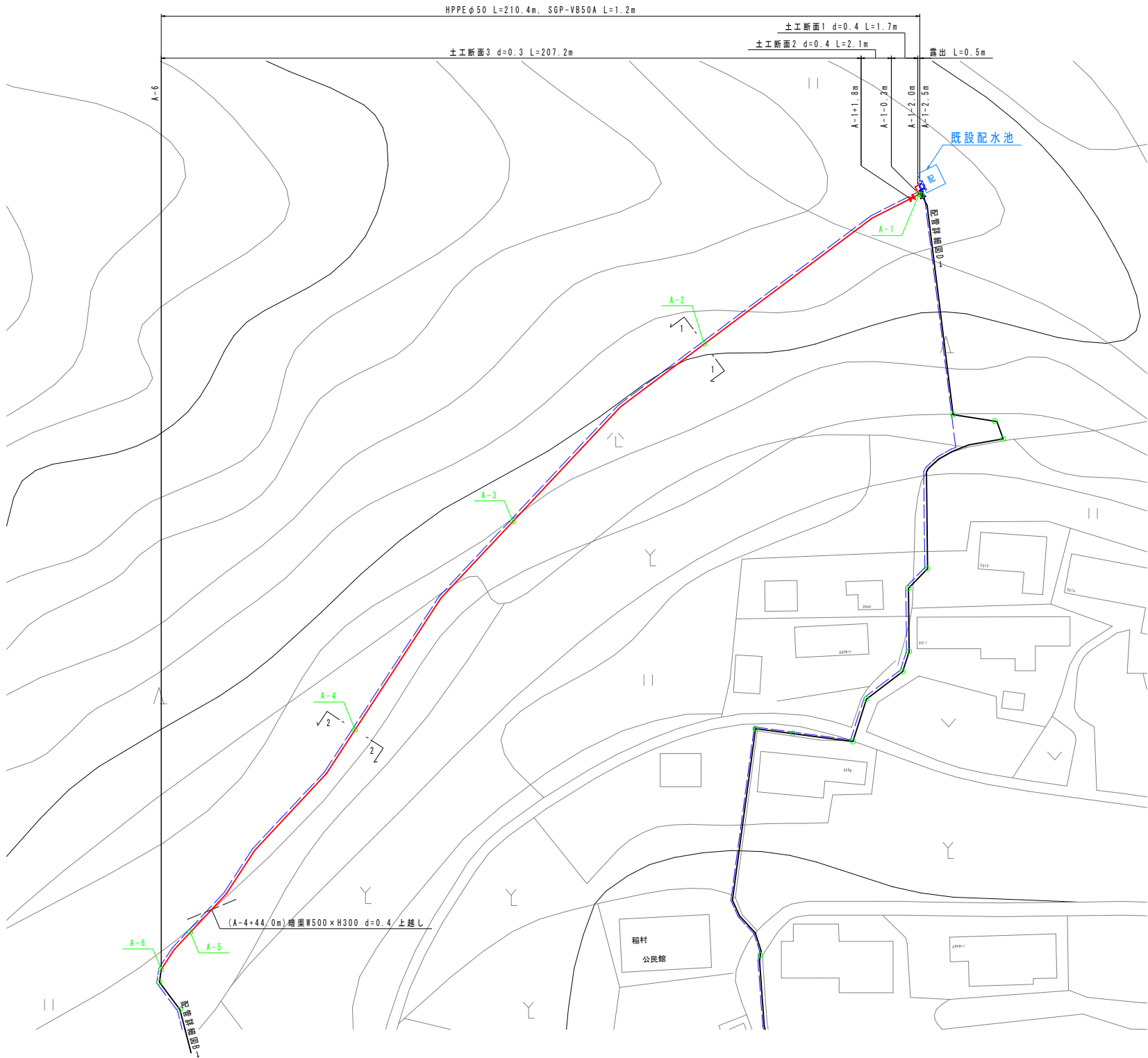


本復旧



平面図

S=1:500



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図A(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	3 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

配管詳細図A(2)

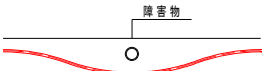
- ※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
- ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
- ※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
- ※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
- ※鋳鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
- ※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
- ※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
- ※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
- ※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図

S=NON

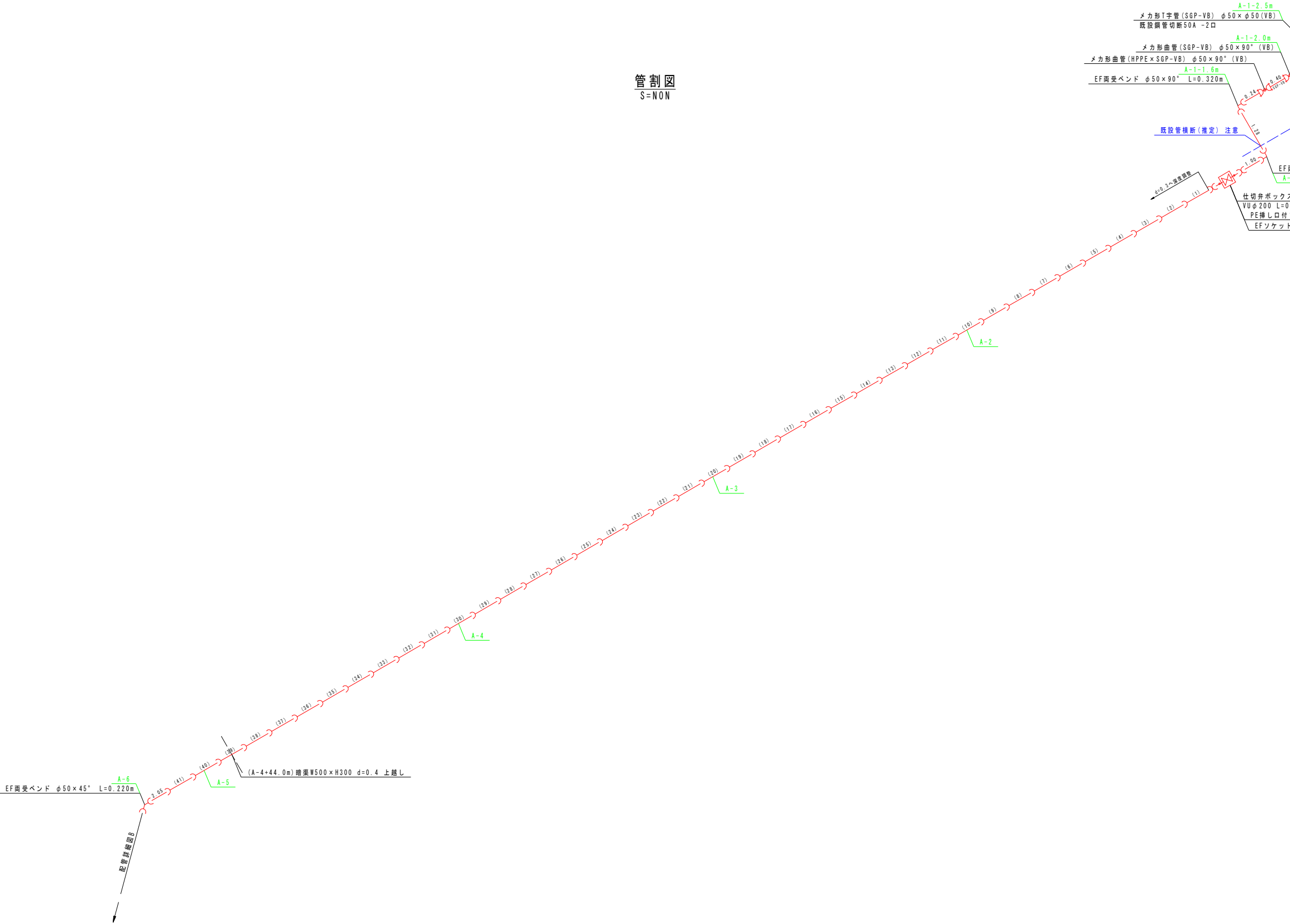
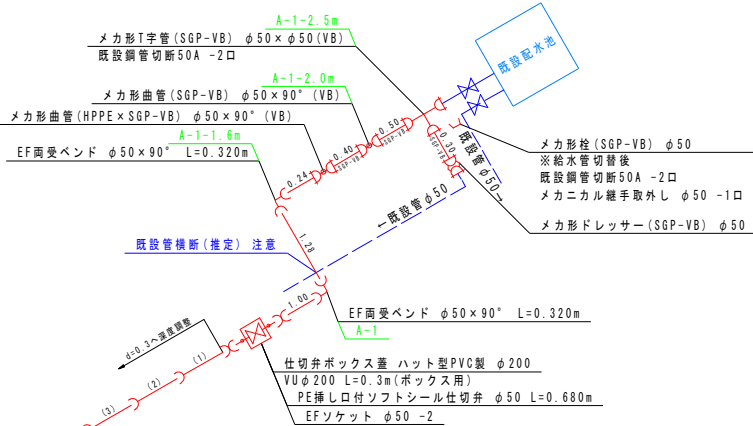
※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
A-1-2.5m		0.0
A-1-1.6m	0.9	0.9
A-1	1.6	2.5
A-2	50.0	52.5
A-3	50.0	102.5
A-4	50.0	152.5
A-5	50.0	202.5
A-6	9.0	211.5

管割図

S=NON

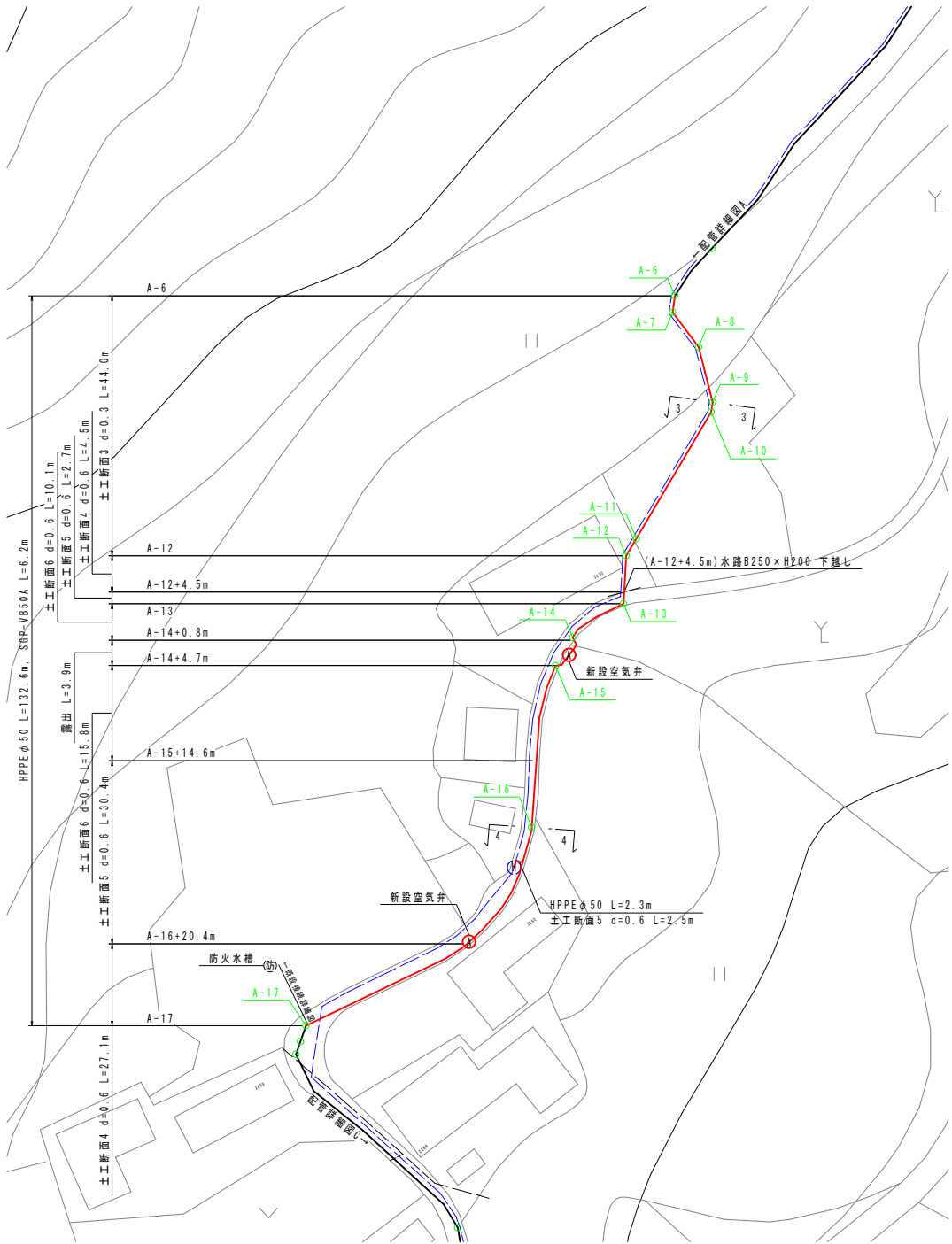


工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図A(2)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	4 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		



—	配水管(新設)
—	配水管(既設)

平面図
S=1:500



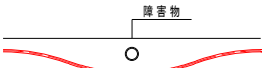
配管詳細図B(1)

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※鋳鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

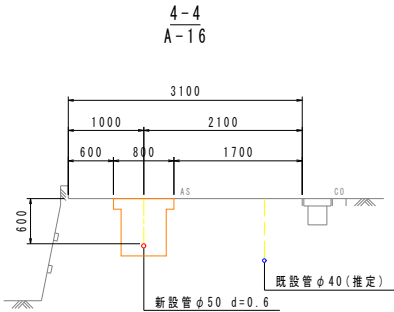
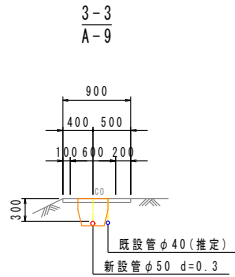
口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図 S=N0N

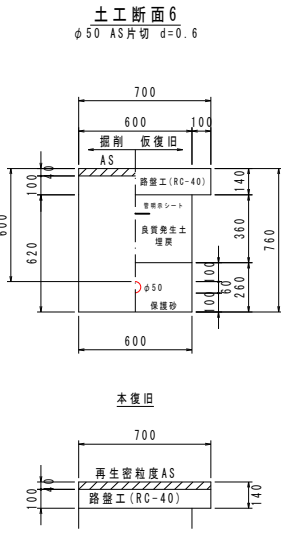
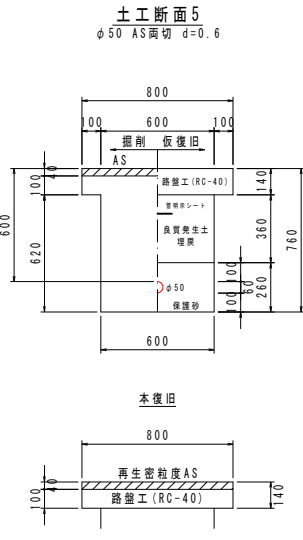
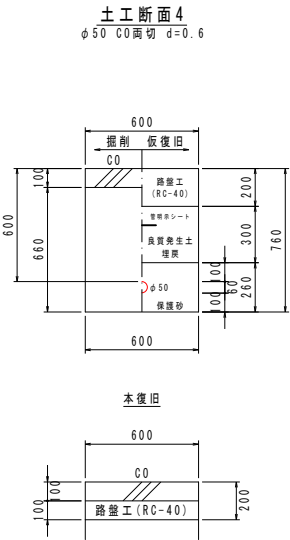
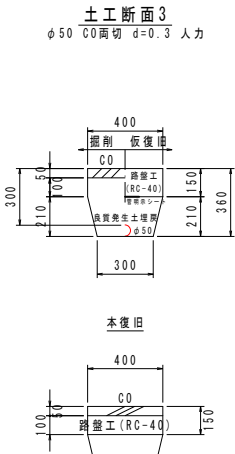
※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



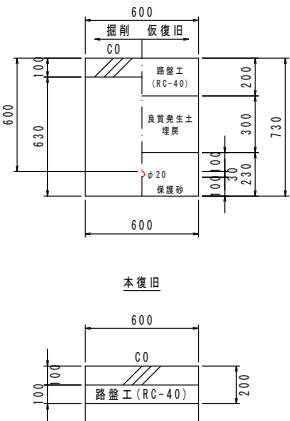
横断面
S=1:50



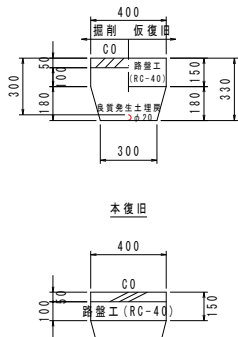
掘削断面図
S=1:20



既設接続土工断面1
φ20 C0両切 d=0.6



既設接続土工断面2
φ20 C0両切 d=0.3 人力



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図B(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	5 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

配管詳細図B(2)

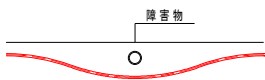
※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図

S=NON

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。

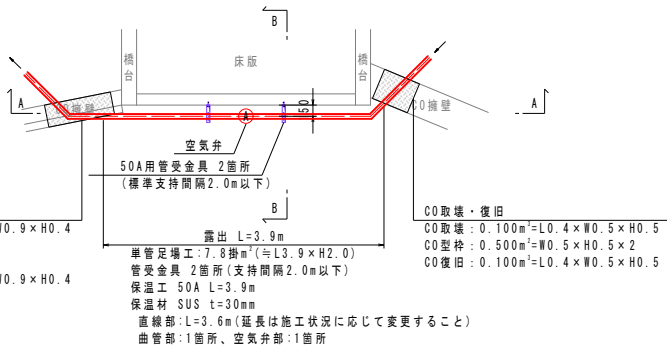


露出部詳細図

S=1:50

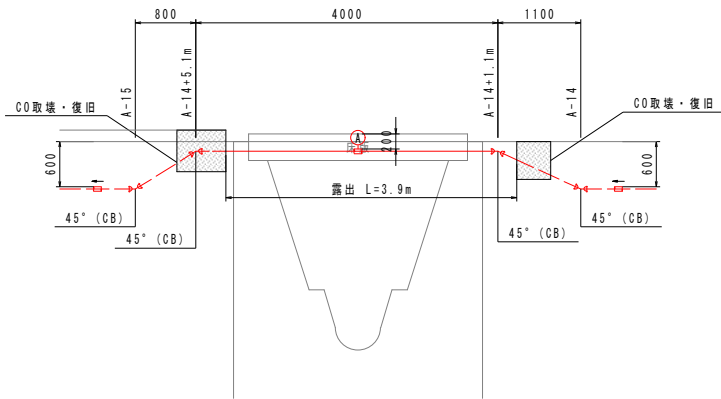
※空気弁、管受金具は現地状況に応じて適切な位置に設置すること。

平面図



側面図

A-A

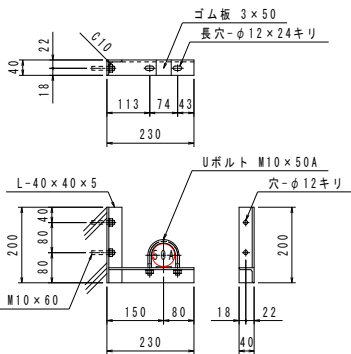


50A用管受金具詳細図

S=1:10

※使用鋼材は、全てSUS304とすること。
※現地設置箇所確認の上、管受金具を作成すること。

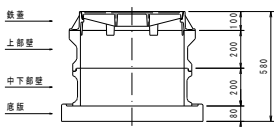
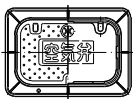
2組



ボックス標準図

S=1:20

空気弁ボックス
角形 d=600用



既設接続詳細図

S=NON

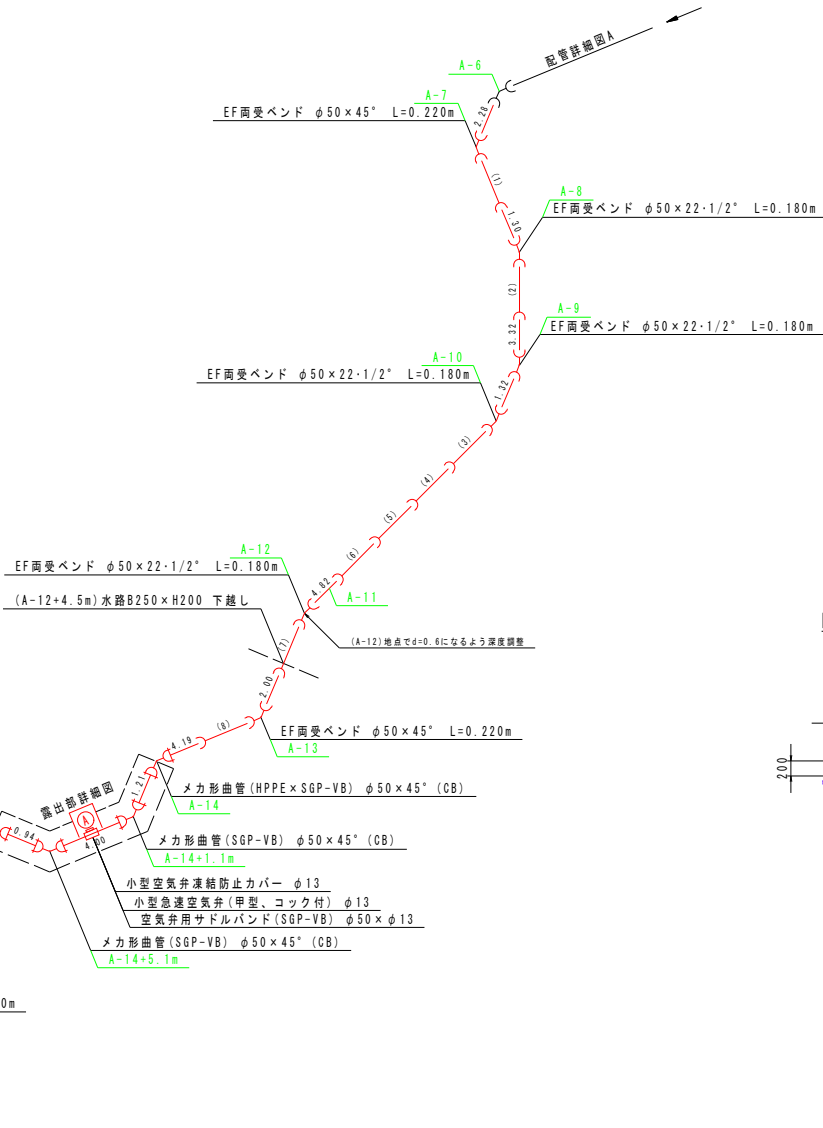
※切管長さは施工状況に応じて変更すること。
※接続先の管種・口径を調べ、材料発注を行うこと。
※接続後、既設止水栓ボックス蓋を撤去すること。

PEφ20 L=9.5m
HIVPφ20 L=0.7m

既設接続土断面1 C0面切 d=0.6 L=9.0m
既設接続土断面2 C0面切 d=0.3 L=0.9m

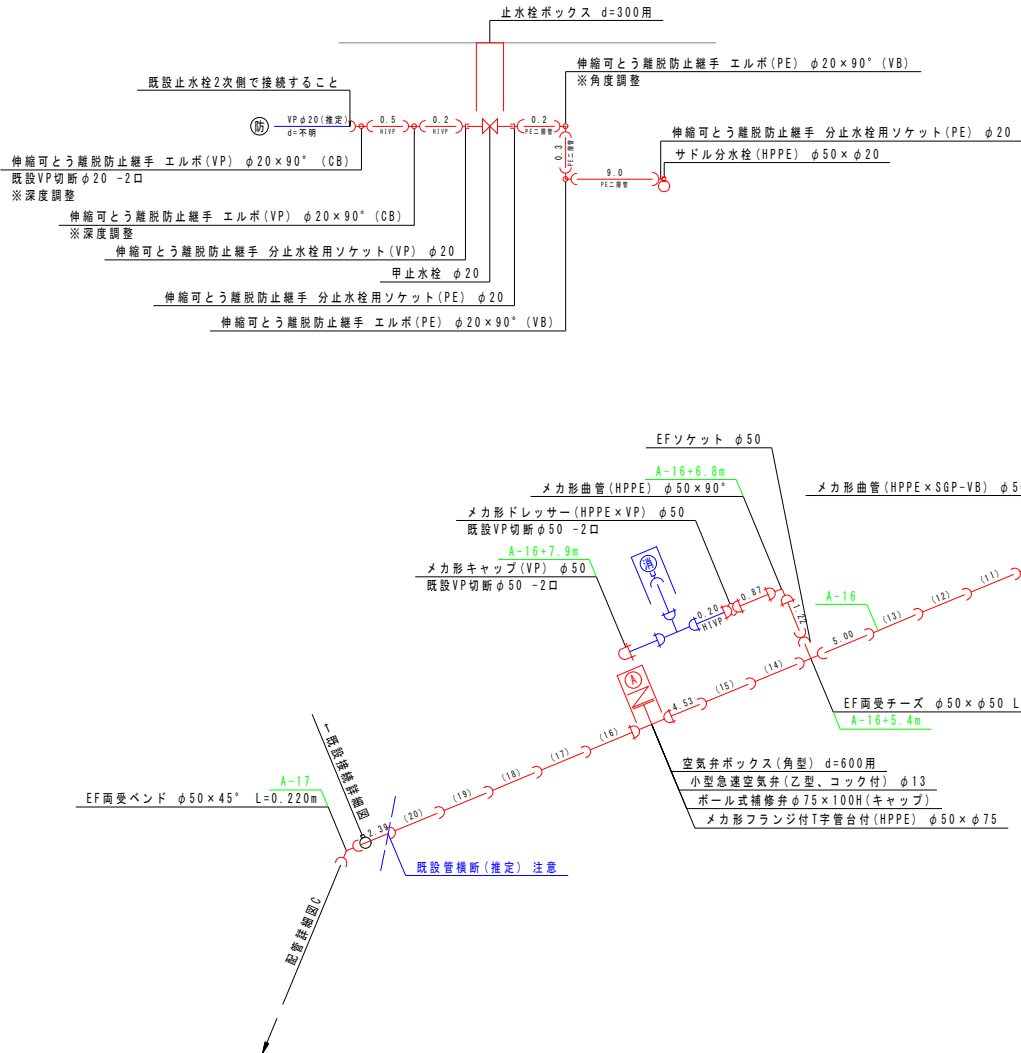
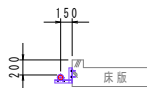
管割図

S=NON



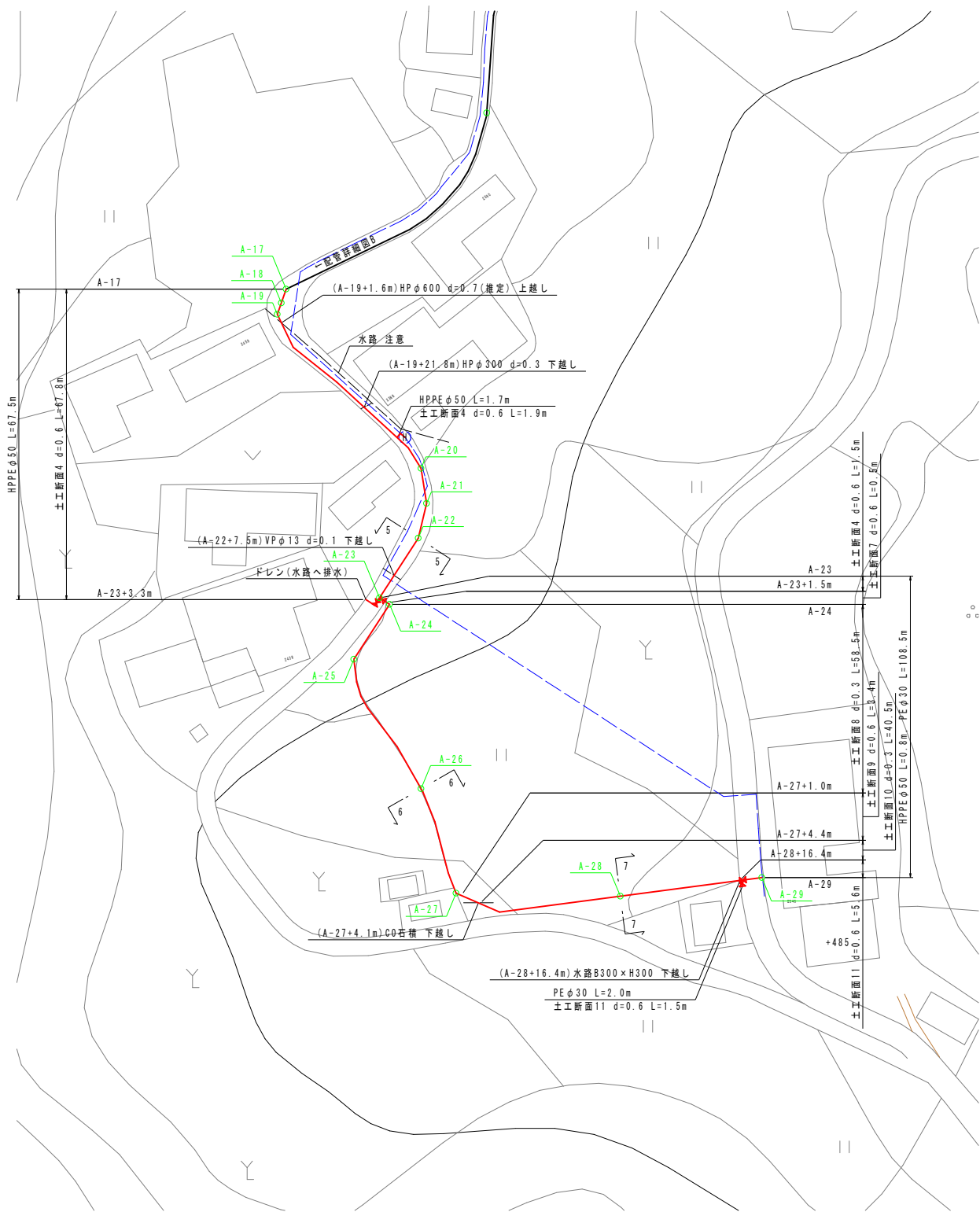
断面図

B-B





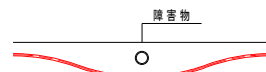
平面図
S=1:500



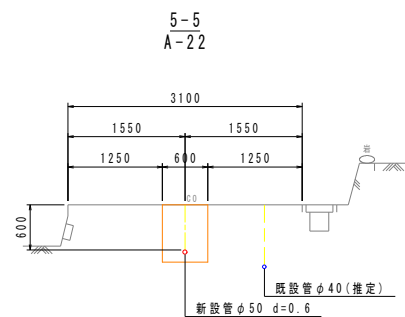
- ※HPPE(水素配位水素ポリエチレン管)を使用すること。
- ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
- ※EF継手の方法はPOLIETに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて法調整を行うこと。
- ※メカ形管形法は、応力集中で脆性脆断金属材料とすること。
- ※鋼鉄製埋設管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
- ※道路埋設部には、明示表示として、埋設管の形状を示すこと。
- ※埋設配管の最小径を示す場合、埋設の管径と管の外径とを区別して使用する。
- ※管割面図の方位に記す(HB)とは北方向、(WB)とは西方向、(GB)とはひり方向を示す。
- ※既設管の埋設位置、土被り厚は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

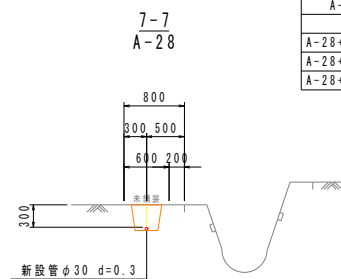
※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



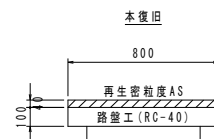
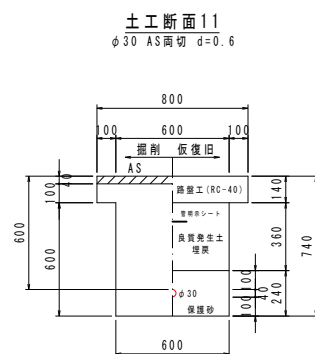
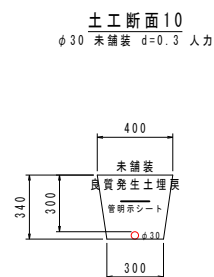
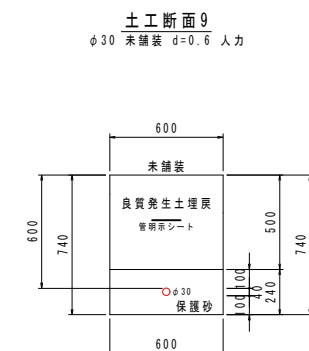
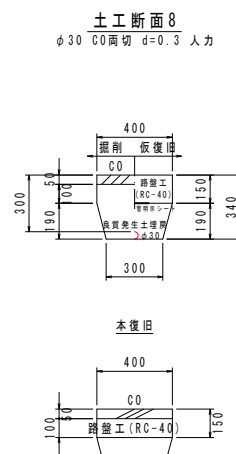
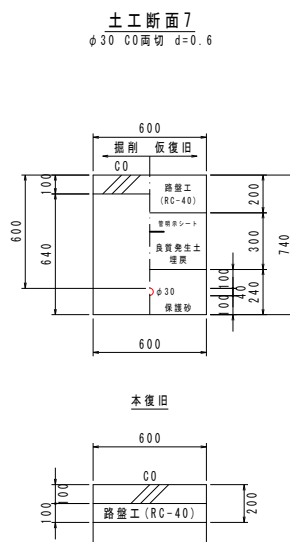
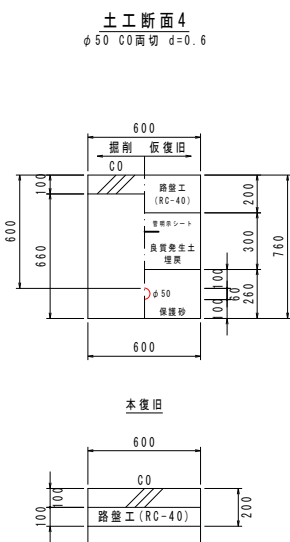
横断図
S=1:50



Technical drawing of a reinforced concrete slab cross-section. The drawing shows a slab with a total width of 1000 mm, divided into two 500 mm sections. The slab is supported by two columns, each 200 mm wide. The slab thickness is 200 mm. The drawing includes dimensions for the slab width, column width, and slab thickness. A note indicates the use of new reinforcement bars with diameter 30 mm and spacing 30 mm.



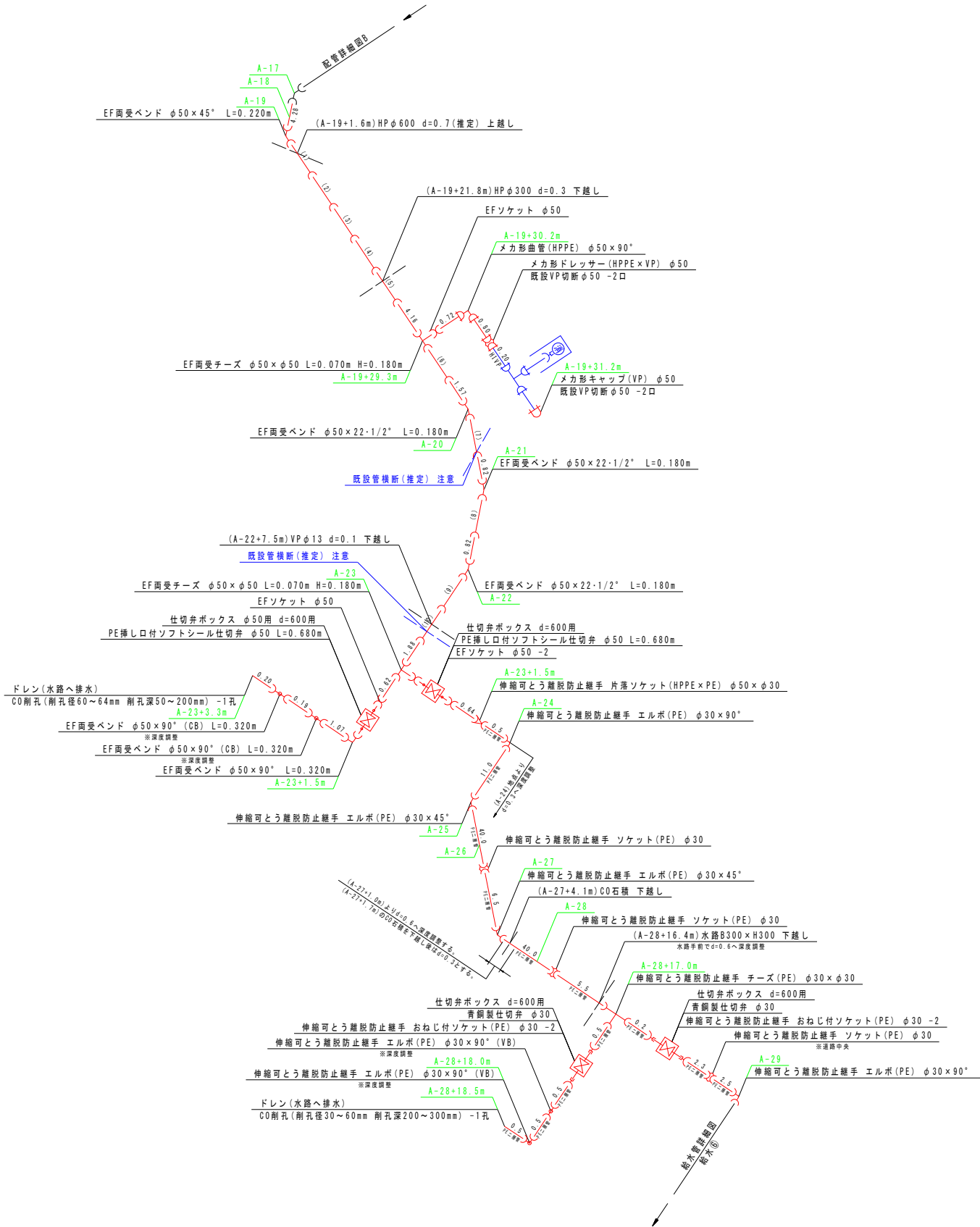
掘削断面図
S=1:20



測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
A-17		0.0
A-18	2.5	2.5
A-19	2.0	4.5
A-20	36.0	40.5
A-21	6.0	46.5
A-22	6.0	52.5
A-23	12.0	64.5
A-23+1.5m	1.5	66.0
A-23+3.3m	1.8	67.8
A-19+29.3m		0.0
A-19+30.2m	0.9	0.9
A-19+31.2m	1.0	1.9
A-23		0.0
A-24	2.0	2.0
A-25	11.0	13.0
A-26	25.0	38.0
A-27	21.5	59.5
A-28	28.5	88.0
A-29	22.0	110.0
A-28+17.0m		0.0
A-28+18.0m	1.0	1.0
A-28+18.5m	0.5	1.5

工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図C(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	7 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

管割図
S=NON



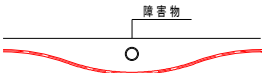
配管詳細図C(2)

- ※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
- ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
- ※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
- ※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
- ※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
- ※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
- ※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
- ※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
- ※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

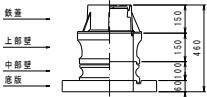
下越し標準図
S=NON

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



ボックス標準図
S=1:20

仕切弁ボックス
円形1号 d=600用(φ50以下)
※口径表示付鉄蓋を使用すること。



測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
A-17		0.0
A-18	2.5	2.5
A-19	2.0	4.5
A-20	36.0	40.5
A-21	6.0	46.5
A-22	6.0	52.5
A-23	12.0	64.5
A-23+1.5m	1.5	66.0
A-23+3.3m	1.8	67.8
A-19+29.3m		0.0
A-19+30.2m	0.9	0.9
A-19+31.2m	1.0	1.9
A-23		0.0
A-24	2.0	2.0
A-25	11.0	13.0
A-26	25.0	38.0
A-27	21.5	59.5
A-28	28.5	88.0
A-29	22.0	110.0
A-28+17.0m		0.0
A-28+18.0m	1.0	1.0
A-28+18.5m	0.5	1.5

工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図C(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	8 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		



—	配水管(新設)
—	配水管(既設)

配管詳細図D(1)

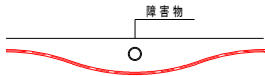
※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で腐蝕防止金具付とすること。
※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図

S=NON

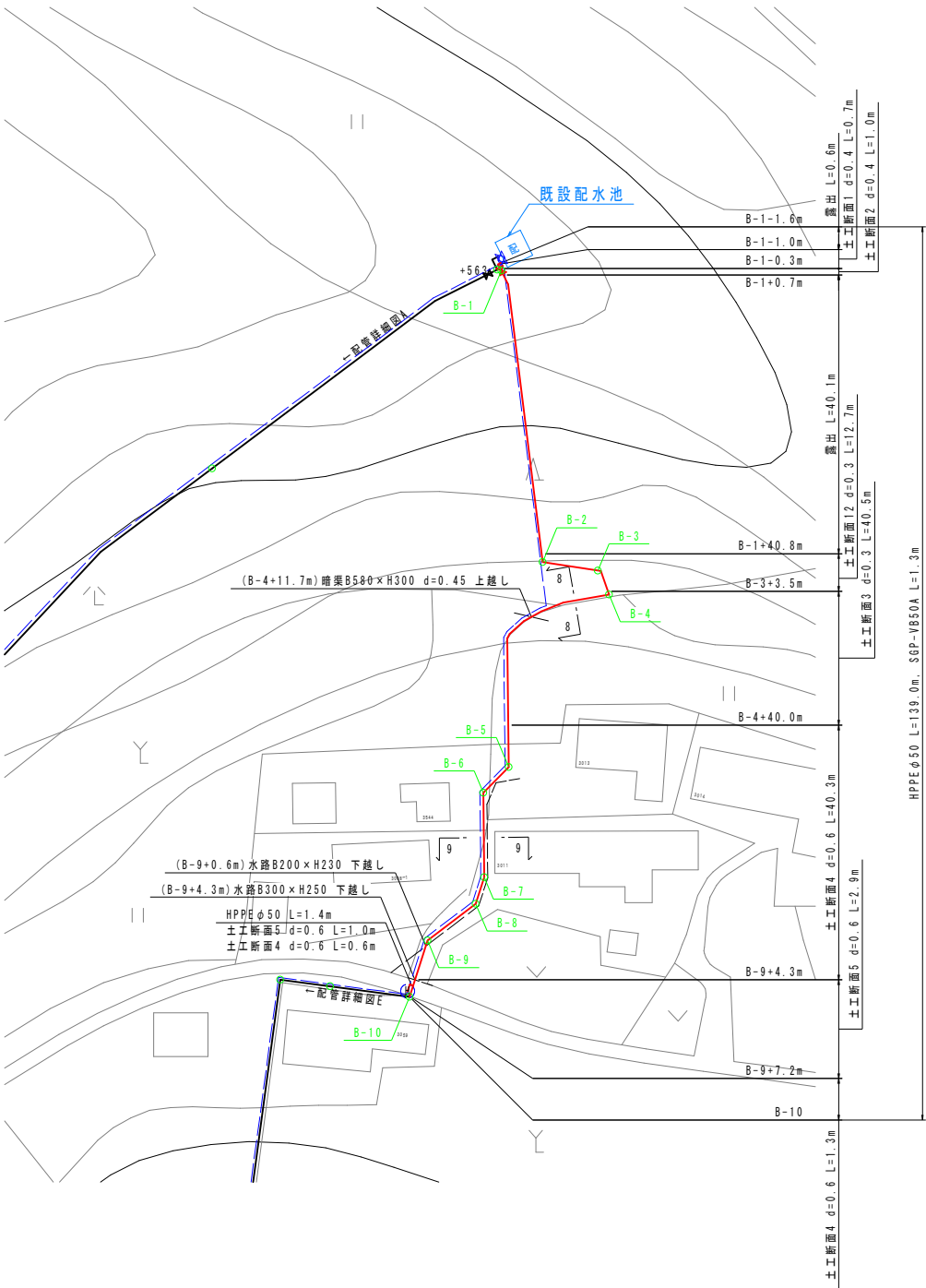
※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
B-1-1.6m		0.0
B-1-1.0m	0.6	0.6
B-1	1.0	1.6
B-2	42.0	43.6
B-3	8.0	51.6
B-4	4.0	55.6
B-5	46.0	101.6
B-6	5.2	106.8
B-7	12.1	118.9
B-8	4.0	122.9
B-9	8.7	131.6
B-10	8.5	140.1
B-9+6.8m		0.0
B-9+7.4m	0.6	0.6
B-9+8.4m	1.0	1.6

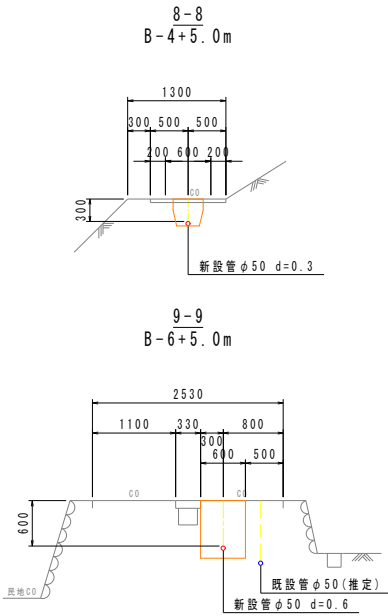
平面図

S=1:500



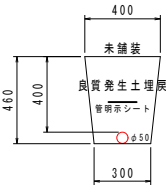
横断面

S=1:50



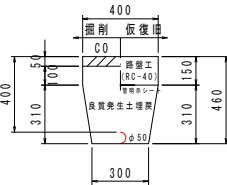
土工断面1

φ50 未舗装 d=0.4 人力



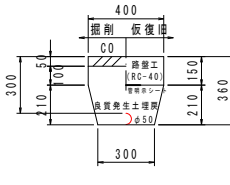
土工断面2

φ50 C0両切 d=0.4 人力



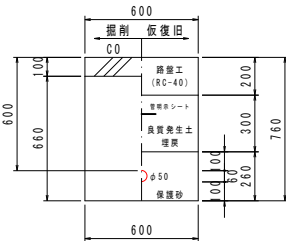
土工断面3

φ50 C0両切 d=0.3 人力



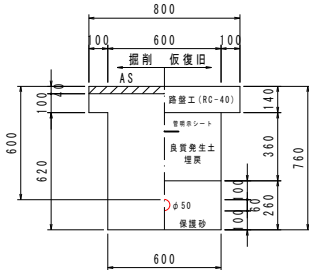
土工断面4

φ50 C0両切 d=0.6



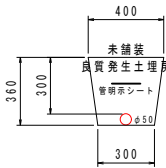
土工断面5

φ50 AS両切 d=0.6



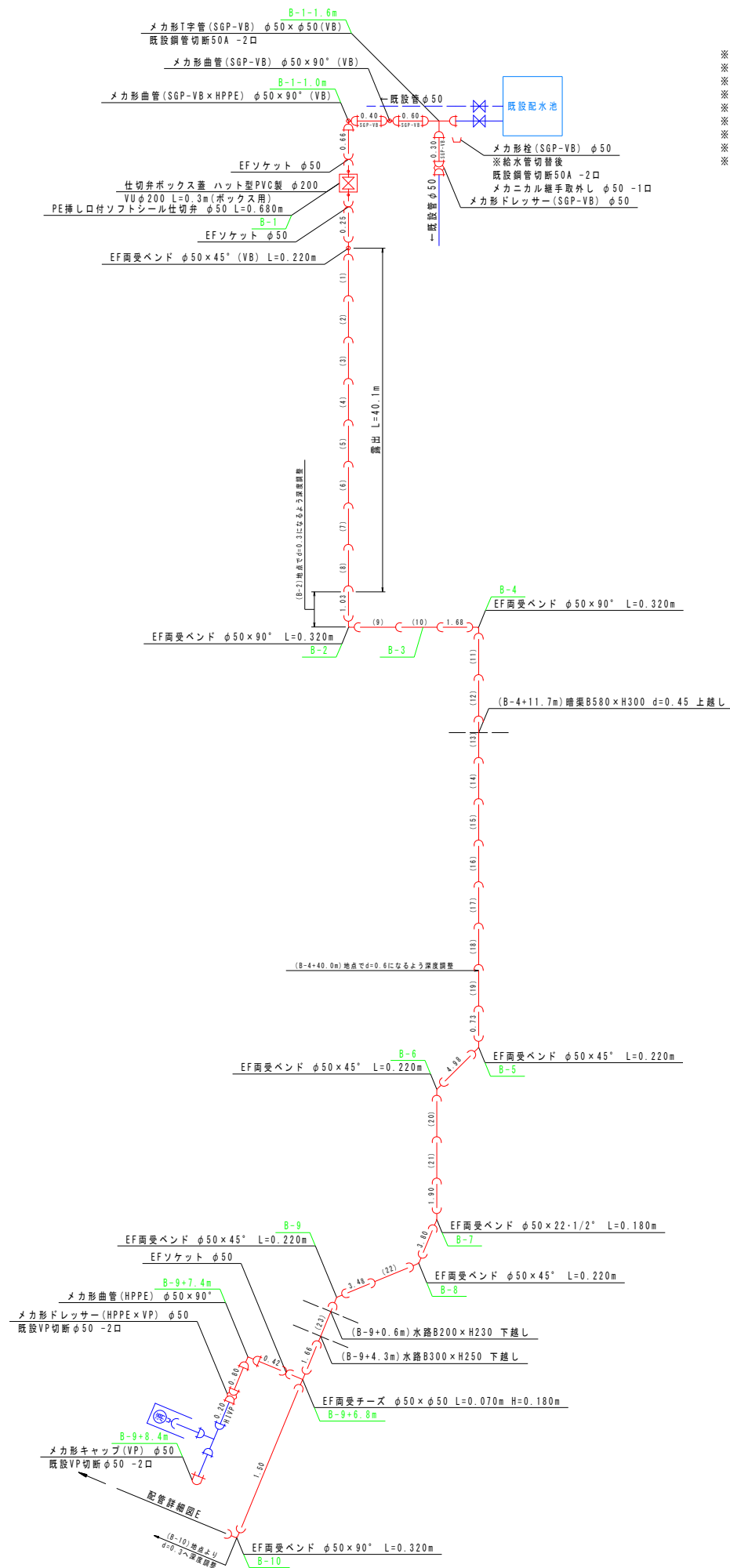
土工断面12

φ50 未舗装 d=0.3 人力



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図D(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	9 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

管割図
S=NON



配管詳細図D(2)

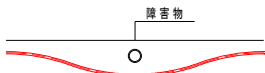
※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
 ※継手部はEF(電気融接)継手とすること。
 ※EF継手の寸法はPOLITEに準拠してはならず、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
 ※形状異形管管径は、球体変形後で耐圧防止金具付とすること。
 ※鍍銀異形管管径部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
 ※管径部には、管明シット・管明シット・管明シットを被覆すること。
 ※配管管径の最大値を表示すること。表中の数値は管径の最大値を指す。管径の最大値は管径の最大値を使用すること。
 ※管径図中の数字に記す(HB)は水平方向、(VB)は垂直方向、(CB)とはむわり方向を示す。
 ※既設管の埋設位置、土被り等は境況のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図

$$S = N O N$$

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



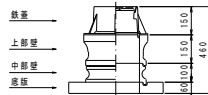
測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
B-1-1. 6m		0.0
B-1-1. 0m	0.6	0.6
B-1	1.0	1.6
B-2	42.0	43.6
B-3	8.0	51.6
B-4	4.0	55.6
B-5	46.0	101.6
B-6	5.2	106.8
B-7	12.1	118.9
B-8	4.0	122.9
B-9	8.7	131.6
B-10	8.5	140.1
B-9+6. 8m		0.0
B-9+7. 4m	0.6	0.6
B-9+8. 4m	1.0	1.6

ボックス標準図

$$S = 1 : 20$$

仕切弁ボックス

※口径表示付鉄蓋を使用すること



工 事 名	福村地区給水施設整備工事		
図 面 名	配管詳細図D(2)		
作成年月日			
縮 尺	1:20	図面番号	10 / 14
会 社 名			
事業者名	越前町 環境水道課		



—	配水管(新設)
—	配水管(既設)

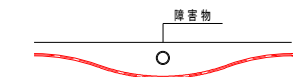
平面図
S=1:500

配管詳細図E(1)

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。
※メカ形異形管埋設部は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※鋼鉄異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※既設管の埋設位置・土被り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

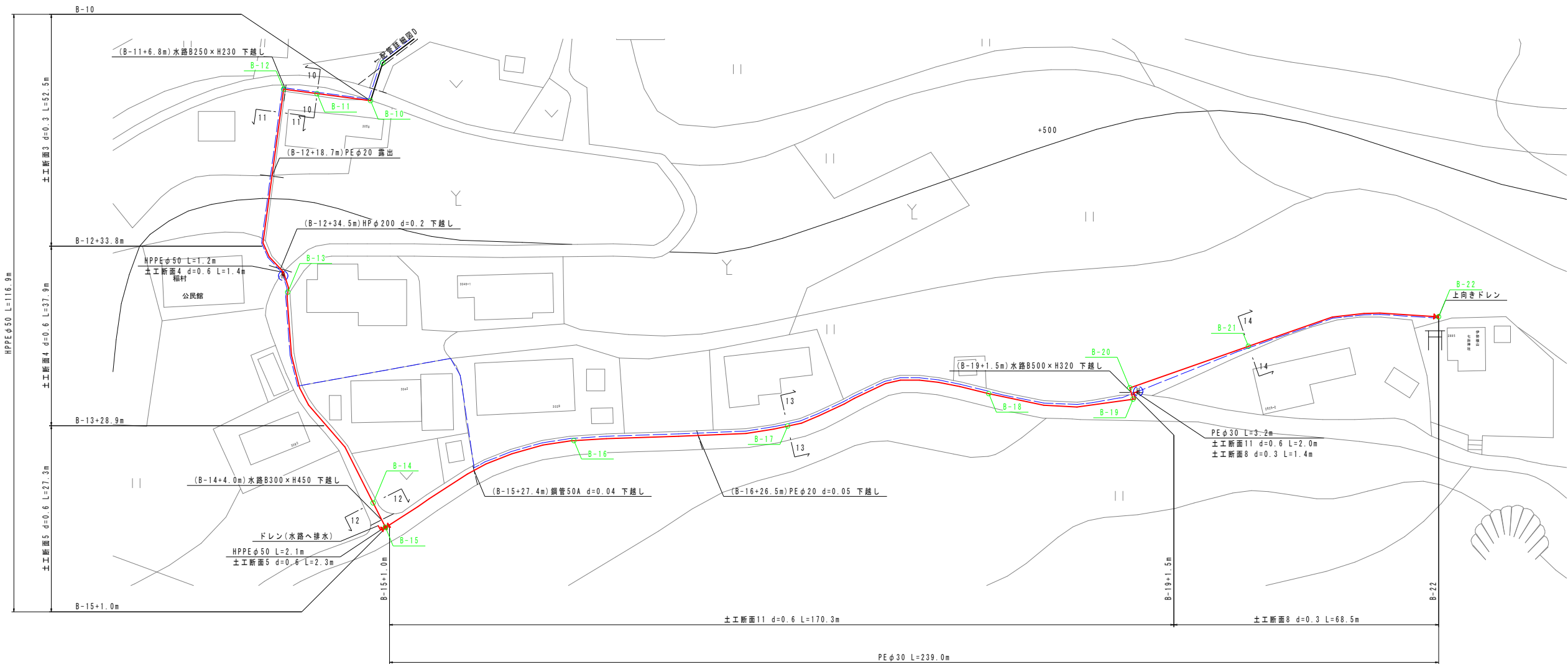
口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

下越し標準図
S=NON

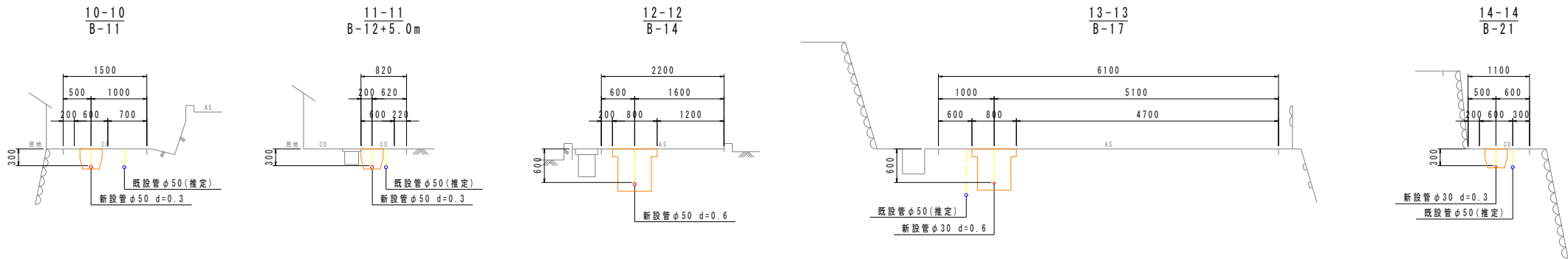


※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。

測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
B-10		0.0
B-11	11.5	11.5
B-12	7.2	18.7
B-13	42.8	61.5
B-14	50.0	111.5
B-15	5.2	116.7
B-16	44.8	161.5
B-17	50.0	211.5
B-18	50.0	261.5
B-19	25.0	286.5
B-20	2.5	289.0
B-21	22.5	311.5
B-22	45.0	356.5
B-12+35.2m		0.0
B-12+35.6m	0.4	0.4
B-12+36.6m	1.0	1.4
B-15		0.0
B-15+1.2m	1.2	1.2
B-15+2.3m	1.1	2.3
B-19		0.0
B-19+0.5m	0.5	0.5
B-19+2.7m	2.2	2.7
B-19+3.4m	0.7	3.4



横断面
S=1:50



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図E(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	11 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

管割図
S=NON

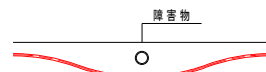
配管詳細図E(2)

- ※HPPE(水素配位水素ポリエチレン管)を使用すること。
- ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
- ※EF継手の方法はPOLIETEXに於て実施しているため、各メーカーの使用材料に応じて法調整を行うこと。
- ※水形彩色管等は、防虫薬塗で難燃防止金具等とすること。
- ※鋼絞線等の最小埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
- ※道路埋設部には、明示表示(・)・消火表示(・)を設けること。
- ※配管の最小の半径を示すこと、管径の表示は、管径の寸法にパイプDと使用すること。
- ※管割断面の位置に記す(HB)とは北方向、(VH)とは垂直方向、(GB)とはひり方向を示す。
- ※既設管の埋設位置、土壌り層は推定のため、掘削時には十分に注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

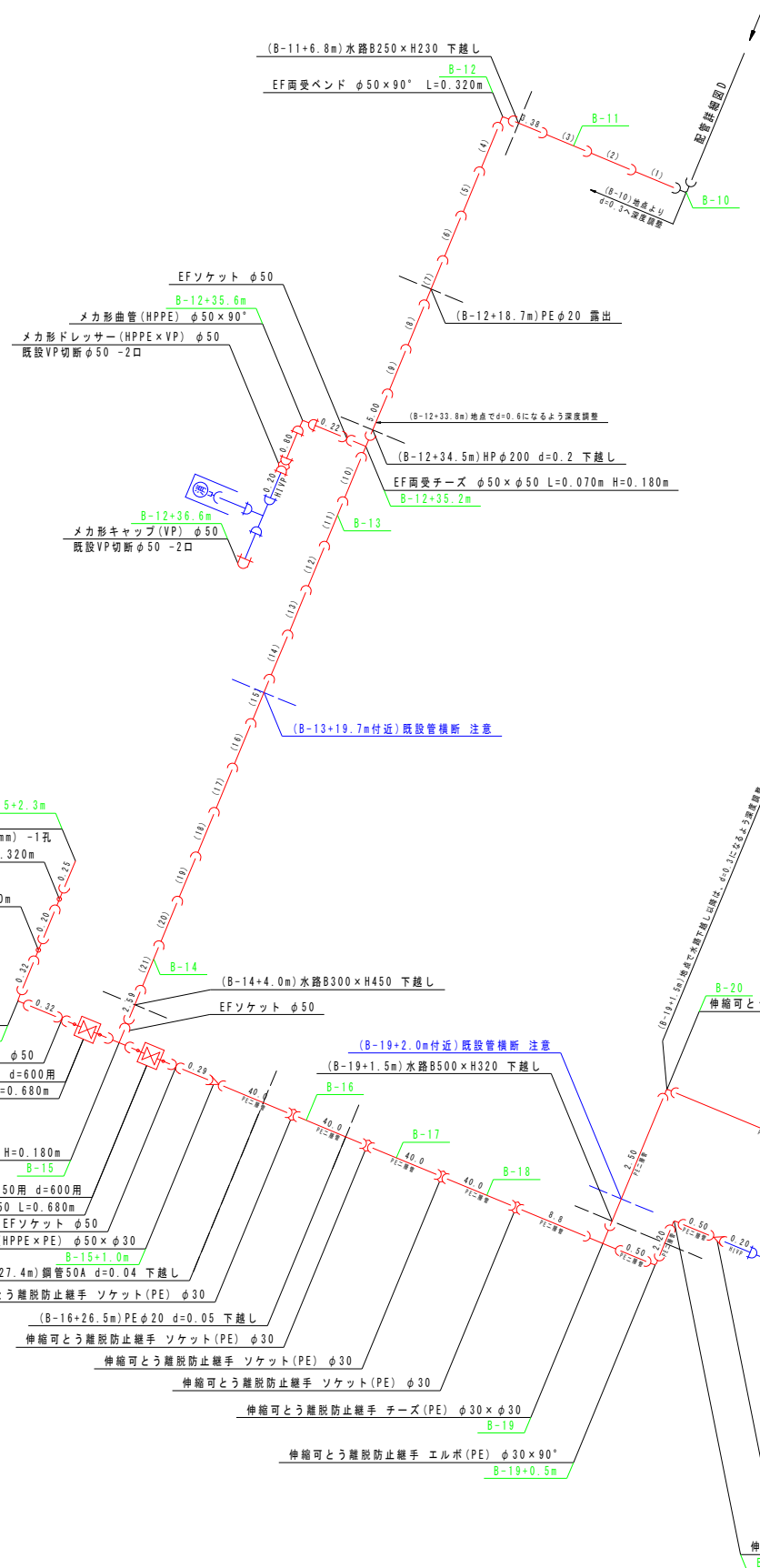
下越し標準図

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。

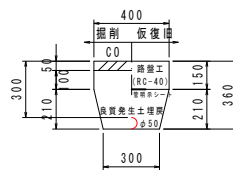


测点	短距离 (m)	追加距离 (m)
B-10		0.0
B-11	11.5	11.5
B-12	7.2	18.7
B-13	42.8	61.5
B-14	50.0	111.5
B-15	5.2	116.7
B-16	44.8	161.5
B-17	50.0	211.5
B-18	50.0	261.5
B-19	25.0	286.5
B-20	2.5	289.0
B-21	22.5	311.5
B-22	45.0	356.5
B-12+35.2m		0.0
B-12+35.6m	0.4	0.4
B-12+36.6m	1.0	1.4
B-15		0.0
B-15+1.2m	1.2	1.2
B-15+2.3m	1.1	2.3
B-19		0.0
B-19+0.5m	0.5	0.5
B-19+2.7m	2.2	2.7
B-19+3.4m	0.7	3.4

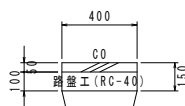
掘削断面図
S=1:20



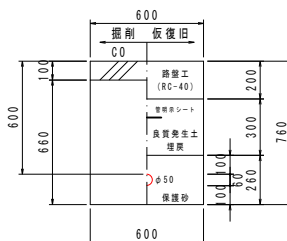
土工断面3
C0兩切 d=0.3 人力



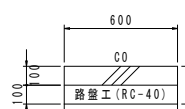
本復旧



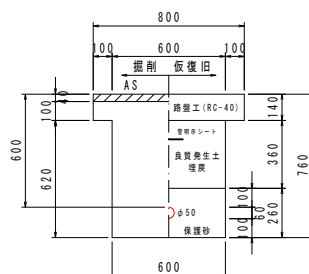
土工断面4
50 C0两切 d=0.6



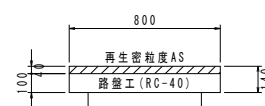
本復旧



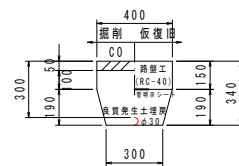
土工断面5
 $\phi 50$ AS两切 $d=0.6$



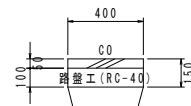
本復旧



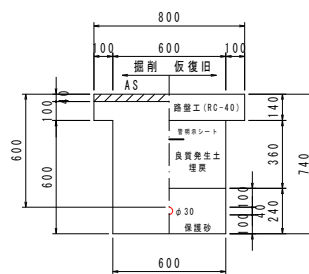
土工断面8



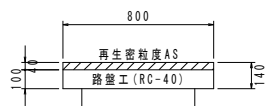
本復旧



土工断面 11
 $\phi 30$ AS 兩切 $d=0.6$



本復旧

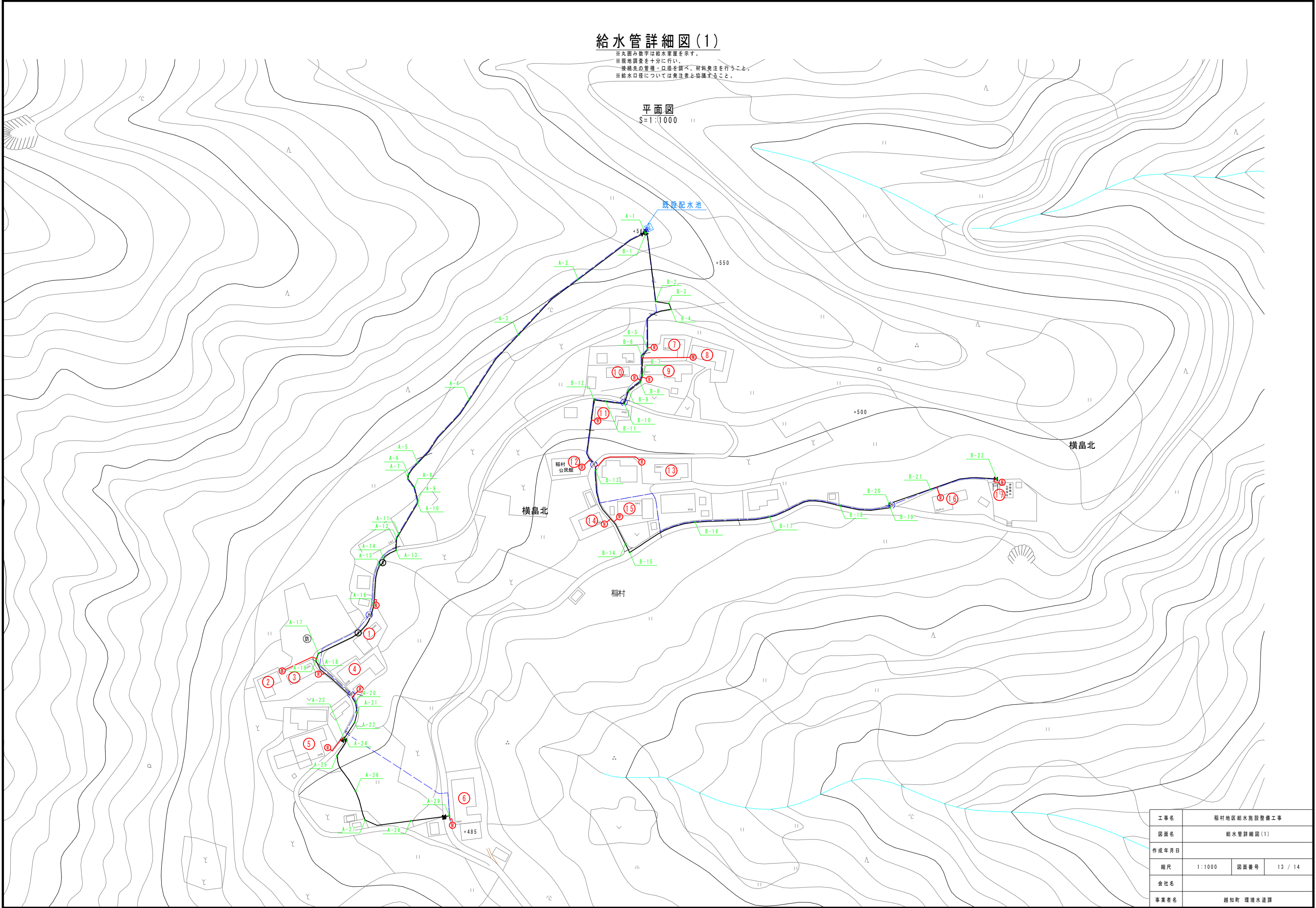


工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	配管詳細図E(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	12 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環排水道課		

給水管詳細図(1)

※丸囲み数字は給水家屋を示す。
※現地調査を十分に行い、
接続先の管種・口径を調べ、材料発注を行うこと。
※給水口径については発注者と協議すること。

平面図
S=1:1000



工事名	稲村地区給水施設整備工事		
図面名	給水管詳細図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:1000	図面番号	13 / 14
会社名			
事業者名	越知町 環境水道課		

※丸囲み数字は給水家屋を示す。
 ※現地調査を十分にを行い、
 接続先の管種・口径を調べ、材料発注を行うこと。
 ※給水口径については発注者と協議すること。

Diagram illustrating the components and connections of a water meter system:

- 量水器ボックス** (Water Meter Box)
- 既設給水管** (Existing Water Supply Pipe)
- HITSソケット** (HITS Socket)
- 既設塩ビ管切断 -2口** (Existing PVC Pipe Cut - 2 ports)
- HITSソケット** (HITS Socket)
- HJユニオンソケット** (HJ Union Socket)
- 袋ナット・パッキン** (Bag Nut & Packing)
- 量水器** (Water Meter)
- 副栓付伸縮止水栓** (Extension Stop Valve with Side Plug)
- HJユニオンソケット** (HJ Union Socket)
- 袋ナット・パッキン** (Bag Nut & Packing)
- HITSソケット** (HITS Socket)

止水栓ボックス

既設給水管

HITSキャップ

HITSソケット

HIユニオンソケット

袋ナット・パッキン

量水器

副栓付伸縮止水栓

HIユニオンソケット

袋ナット・パッキン

HITSソケット

伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用ソケット

減圧弁

伸縮可とう離脱防止継手 エルボ - 2

伸縮可とう離脱防止継手 メーター用ソケット

伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用ソケット

サドル分水栓

伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用ソケット

甲止水栓

伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用ソケット - 2

量水器ボックス

量水器ボックス

既設給水管

HITSソケット

既設塩ビ管切斷 -2口

土工断面 A
 $\phi 20$ AS 両切 d=0.6

土工断面 B
 $\phi 20$ C0 両切 d=0.6

土工断面 C
 $\phi 20$ 未舗装 d=0.3 人力

土工断面E

工事名	福村地区給水施設整備工事		
図面名	給水管詳細図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	14 / 14
会社名			
事業者名	越前町 環境水道課		